

# 雪まるかじりツアー2

12月25日(日) ～ 12月26日(月)

IN 兵庫県立兔和野高原野外教育センター

	午前	午後	夜
1日目	施設向け出発	雪遊び・オリエンテーション	キャンドルサービス クリスマスナイト
2日目	掃除・名札作り	ソリすべり・施設を出発	

一日目： 今年一番の寒波が来ているなか、活動が始まりました。現地に近づくにつれ、雲が重くなり、雪が見えてきました。移動中に見える雪に対して、施設の雪は圧倒的で、一同声を揃えて「エーツ」と叫んでいました。昼食時も早く遊びたい気持ちからずっとソワソワしていました。そして雪遊びの時間となり、活動場所に向かったのですが、積雪が背丈ほどあるので、頭で考えているように動けず、てんでこ舞いになっていました。それでも、自分達なりに考え、雪まみれになりながらも進み、楽しみ、なんともいえない笑顔がステキでした。日中の雪遊び時間もあっというまに過ぎ、夕食後にはキャンドルサービスを行いました。リーダーが提供するレクリエーションに隔てなく楽しんでおり、リーダーと参加者との距離の近さを感じる事が出来ました。そしてトナカイからのクリスマスプレゼントとしてもらったケーキで暖かい飲み物と共にとても幸せな気分になりました。



二日目： 朝起きると、なんと枕元にクリスマスプレゼントがありました。きちんと夜にキレイな靴下を置いていたので、その中に入っていました。見つけるなり声をあげて「やったー」と叫んでいる姿が微笑ましかったです。朝食を済まし、掃除を済ませた後はみんなでパズルタグ作りをしました。一枚の板にグループみんなで絵を描き、それを人数分に切り分け、それぞれに持ってもらいました。首からかけながらお互いの絵を合わせ嬉しそうにしていたので、グループとしての一体感を感じていたのだと思います。昼は出発ギリギリまで雪遊びをしました。一日目に出来なかったソリ遊びをしました。初体験の方が多く、大胆に転倒しながらも起き上がり、笑っていました。本当に楽しそうにされていました。出発の時間になると皆名残惜しくされ、もう一泊したい！という要望を沢山聞きました。雪に別れを惜しみながら出発し尼崎に帰ってくると、寒さにも、集団行動にも遅くなっていた気がします。



## <キャンプ総括>

ニュースで大雪警報が出ており、雪の量が例年に比べ、二倍、三倍多く我々も現地に到着すると正直悩んでいました。けれども、参加者の皆さんは大喜びで心から楽しんでいました。私たち大人は雪の怖さを知っているので、心底楽しむことができません。だからこそ、参加者の皆さんにはその気持ちをキャンプ中、そして終わってからも持ち続けてもらえるよう配慮を徹底させていただきました。楽しみといえばキャンプの時期がクリスマスだったのでクリスマスの雰囲気を感じてもらえるようにケーキやプレゼントを用意させていただきました。それぞれに対して喜んでいただけましたが、やはり「あれはリーダーが用意したもの」と指摘される方がおられました。しかしその子に対して「例えそうだとでもそれを口にするより素直に喜んで方が楽しい」と説明している子がいました。楽しまなきゃ損！という考えを持ってキャンプに臨んでいる子ども達がいてくれた事に私達は一同心から嬉しかったです。

(竹中 哲郎)